



2019年6月4日

### 先週の回顧

カナダ・ドルは、対円で下落しました。また、カナダ5年国債利回りは低下しました。

米国がメキシコからの輸入品に対して関税を課すと表明したことを背景に貿易摩擦激化懸念が強まったため金利は低下しました。カナダ・ドルも原油価格の下落などを背景に対円で下落しました。

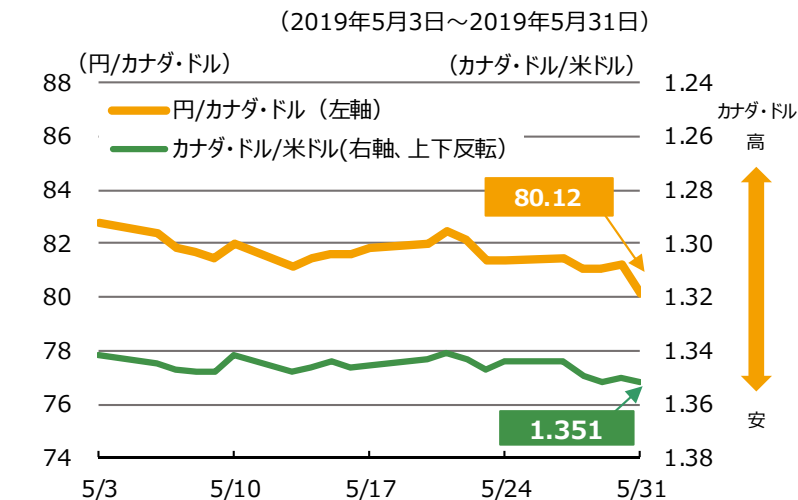
また、カナダ銀行（中央銀行）の金融政策決定会合が開催され、市場予想通り政策金利は据え置きとなりました。経済指標では2019年1-3月期GDP（国内総生産）が発表になっており、市場予想を下回りました。内訳をみると内需は堅調だったものの外需の低迷がGDP成長率を押し下げています。

### 今週の見通し

今週、カナダでは雇用統計の発表が予定されています。雇用者数は前月、大幅に増えた反動で今月に関してはおおむね横ばいになることが見込まれています。米国でも雇用統計の発表が予定されており、市場で強まっている米国の利下げ観測に影響を与えるため結果に注目が集まります。

足元では米国の対中国、対メキシコの貿易摩擦の激化により、米国の経済成長率が押し下げられ、FRB（米国連邦準備制度理事会）が利下げに動くとの見方が広がっています。そのため、米国金利の低下圧力が強まっており、カナダの金利、通貨の上値を抑えることが考えられます。

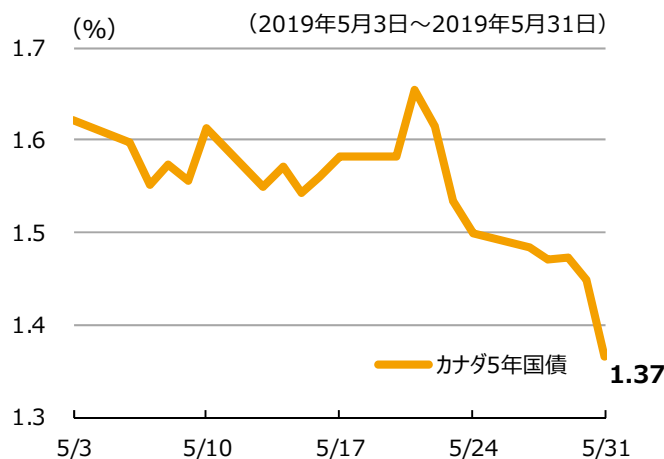
### カナダ・ドル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### カナダ 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。